みえの里山ハイキングコース（健脚向き）

大岩毘沙門天

大岩山は、天平 17（745）年行基により開かれ、堂宇を建て多門天（毘沙門天）を祀ったのが始まりと言われています。

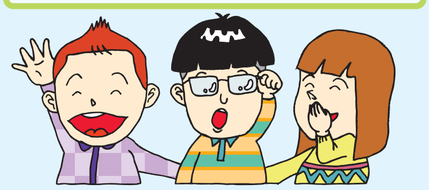
その後は真言密教の法灯をともし、山中の毘沙門堂を中心に全山に塔頭寺院（大岩山十二坊）を配し、足利氏などの武将から信仰を集めてきました。しかし、これらの堂塔伽藍は、文和 4（1355）年に雷火のため焼失。以降人々の厚い信仰によって法灯は受け継がれ、現在の毘沙門天本堂は、江戸時代の宝暦 12（1762）年に再建されたものです。

毘沙門天は、北方を守護し財宝を守る神とされ、七福神の 1 つでもあります。大岩山の毘沙門天は、京都の鞍馬山・奈良の信貴山と共に日本三毘沙門天の 1 つといわれています。

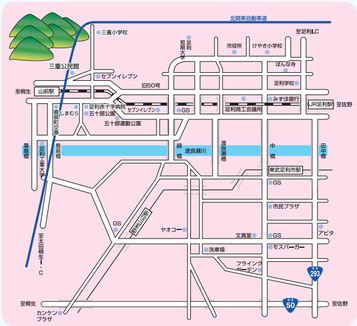
湯殿・大岩山コース

Start & Goal

天狗・両崖・大岩山コース



◆ 三重地区へのアクセス ◆



【交通のご案内】

三重公民館まで

- ●東武伊勢崎線「足利市駅」より車で 15 分
- ●ＪＲ両毛線「足利駅」より車で 15 分
  「山前駅」より車で 8 分
- ●北関東自動車道「太田桐生ＩＣ」より車で 15 分
  「足利ＩＣ」より車で 20 分
- ●足利市生活路線バス「足利赤十字病院停留所」より徒歩で 5 分

【お問合せ】

●三重地区観光協会
〒326-0843 栃木県足利市五十部町 472
（三重公民館内）
☎0284-21-9719（平日午前8時30分～午後5時15分）
●足利市観光協会
〒326-0053 栃木県足利市伊勢町 3 丁目 6-4
☎0284-43-3000

ふるさと「みえ」物知り百科

1.「みえ」のいわれ

三重地区は、今福町、五十部町、大岩町の 3 町からなります。江戸時代はそれぞれ別の領主がおりましたが、明治 4 年の廃藩置県後、国の統括するところとなりました。明治 22 年には町村制が施行され、足利郡坂西町の一部となりました。明治 26 年には今福・五十部・大岩の 3 つの字からなる「三重村」が誕生しました。その後、昭和 29 年 8 月に足利市に合併しました。

2.「みえ」のミステリー散策

⑧ 大手神社

「天慶の乱」で藤原秀郷に討たれた平将門は、体がばらばらに飛び落ちたと言われ、その「手」を祀ったのが大手神社です。将門は、桔梗姫の密告で討たれたことから、五十部町新屋敷では、桔梗をきらう風習が残されています。手仕事の上達や病の回復にご利益があると信仰を集め、「手」の絵馬がたくさん奉納されています。

① 浄林寺離れ

浄林寺境内にある茅葺屋根 2 階建ての民家です。「からくり屋敷」といわれ、隠し扉や部屋があり、追手から逃げられるようになっています。

幕末に渡辺崋山（かざんの）らをかくまうため、代官が作ったものだそうです。

⑩⑪ 瑞泉院・離れ山・嫁子道

瑞泉院がある山は足尾山地から独立していることから「離れ山」と呼ばれます。昔は内郷山に続いていましたが、渡良瀬川の洪水で押し流され、離れ山になったといいます。

「離れる」は縁起が悪いので、花嫁行列は山を通らず遠回りしたそうです。その回り道を嫁子道といいます。

⑥ 水使神社

五十部小太郎に仕えた「イソ」という女性の霊を祀った神社です。イソは小太郎との間の子が、この淵で溺れ死んだのを嘆き、自分も身を投げました。その後、ここを通る村人が、イソの霊に招かれ命を失うことから「影取りの淵」と恐れられました。この霊を慰めるため、祠をたて水使神社としたそうです。子授けや女性病の回復にご利益があり、多くの絵馬が奉納されています。4月・10月第3日曜日の例祭には多くの信者が集まります。

⑨ 首なし地蔵（お化け地蔵）

五十部町東山の山裾に、首が欠けたお地蔵さんが祀られています。昔村人がここを通ると「おぶさるべー」と言って化けて出るお地蔵さんがありました。ある時、小林平内という武士が、竹の刀で、化けたお地蔵さんの首を切ってしまいました。それ以来お地蔵さんの首はなくなり、屋敷の名刀も刃がぼろぼろになったと言われています。

3.「みえ」の珍行事

① 1 月 1 日　滝流しの式【大岩毘沙門天】

元旦の早朝に行います。毘沙門天の前に正座して大きな朱杯を口にあてた人の額に住職が酒を注ぎます。顔をつたって大杯へ落ちた酒を飲み干します。「もうたくさん」の合図で左手を挙げると、住職は酒を注ぐのをやめ、滝流しの式は終わります。「滝のように尽きることのないご利益を願い」行われる儀式です。

⑨ 7 月 第 3 日曜日　大祭の神輿【八雲神社】

夏は衛生状態が悪く、疫病の流行や食中毒の発生などの災いは、八雲神社の祭神である牛頭天王が起こすものと考えられていました。そこで、お神輿や山車を巡行し牛頭天王の霊を慰める行事が八雲神社の夏祭りです。神社を出発した神輿は、五十部町内を練りあるき、住民の安寧と無病息災を祈ります。

⑩ 12 月 31 日　悪口（あくこう）祭り【大岩毘沙門天】

大晦日の晩に行われます。参道を行き交う人たちが大声で「馬鹿野郎」と叫び合うことから「馬鹿野郎祭り」とも言われます。「1 年の憂さを晴らし、新たな気持ちで新年を迎える」などの意味があります。「泥棒」「貧乏」など「ボウ」のつく言葉は禁句とされます。現在は、午後 10 時頃に集合し、「馬鹿野郎」と叫びながら参道を登り、初詣します。

4.「みえ」の絵馬

三重地区の社寺にはたくさんの絵馬があります。

⑥ 水使神社

⑧ 大手神社

⑨ 笠間稲荷神社

① 浄林寺薬師堂

⑦ 大岩毘沙門天本堂

5.「みえ」の近代化遺産

② 今福浄水場

渡良瀬川の伏流水を集め緑町配水場へ送る施設です。昭和 5 年に建てたポンプ室があります。玄関周りやアーチ窓など随所にゼツェッシオン風の装飾があり、昭和ロマン漂う美しい建物です。

● 足利織物講習所跡記念碑

明治 18 年、多くの人に望まれて、現在の今福南町地内に「織染講習所」（間もなく「足利織物講習所」に改名）が造られました。織物のまち足利の技術伝承の拠点として、全国から多くの生徒が集い学びました。足利織物講習所が栃木県立足利工業高校の前身です。

⑤ 緑町配水場

今福浄水場から送られた水を街中の家庭に配水する施設です。昭和 9 年に足利に行幸された昭和天皇が市内を一望された御座所が水道山記念館として当時のまま保存されています。

④ 足利公園古墳群

明治 19 年に造られた足利最初の公園です。公園造成時に古墳が発見され、足利織物講習所役員・峰岸政逸や東京大学の坪井正五郎によって発掘調査がなされました。これが近代日本初の古墳の発掘調査として知られています。

⑥ 二重坂

足利と桐生を結ぶ重要な道として、明治 11 年に拡幅・開削されました。開削は官財ではなく民力、手作業で行われました。岩盤が露出した切通しから当時の人々の苦労が偲ばれます。

⑦ 三間道路

明治 17 年、栃木県令であった三島通庸の命によって桐生―足利―佐野を結ぶため造成された道路です。道幅が約三間（5．4m）であることから、こう呼ばれています。車が少ない時代、幅三間でも広い道路で、昔は乗り合いバスも通りました。三間道路沿いは古い屋並みを見ることができます。

● 柳原用水

足利の川は、地形上北から南、西から東に流れるのが普通ですが、柳原用水は北の山に向かって流れていることから「さかさ川」と呼ばれます。江戸時代、農地の灌漑のためにつくられた人工の用水で、総延長は約 12km あります。

② 忠霊塔

明治時代後期以降、日本は日清、日露、満州事変、日中、太平洋と戦争が続きました。旧憲法では臣民の義務として兵役が課せられており、三重村からも多くの若者が戦地へ送られ帰らぬ人となりました。その方々を祀る忠霊塔です。

③ 足利市三重村合併記念碑

三重村は、明治 26 年に今福・五十部・大岩が合併して誕生しました。戦後、町村合併促進法の施行によって全国的に町村合併が進み、昭和 29 年 8 月には山前村と三重村が同時に足利市に合併されました。

6.「みえ」の今昔

⑧ 東神社

明治の神仏分離で、一時「星宮神社」と称しましたが、その後東神社と改称されました。五十部町の東山、葛ヶ人、西舟 3 地域の氏神です。

Ⓐ 厳島神社（弁財天）

元禄 5（1692）年 5 月、当時の今福村領主・六角越前守廣治が改築した社殿です。六角家は、滋賀県に拠点をもち、その飛地でした。幕末期の「六角騒動」では、若き日の田中正造が活躍しています。

④ 萬霊碑

江戸時代、天候不順などでしばしば不作がありました。天保 7（1836）年、低温と長雨による飢饉で多くの人が亡くなりました。丹南藩五十部屋敷の代官・岡田祐吉が、その方々を弔って建立したもので、漢文で当時の様子が記されています。

① 桜の苗木記念樹・記念碑

平成 23 年 2 月 6 日、足利競馬場跡地の公園化を記念し、足利赤十字病院の市道沿いに、ここを「さくらの名所・三重」として後世に残したいとの思いを込め、桜の苗木を植樹しました。その思いが記念碑に刻まれています。

7.「みえ」の歴史を語る文化財

- ● 国登録文化財（1 件）
  今福浄水場ポンプ室
- ● 栃木県指定文化財（3 件）
  瑞泉院の木造観世音菩薩像（33 躯）
  大岩毘沙門天及び両脇侍像（3 躯）
  大岩山石造層塔（1 基）
- ● 足利市指定文化財（9 件）
  大岩毘沙門天本堂（1 棟）
  大岩毘沙門天本堂の絵馬及び奉納額
  大岩毘沙門天石段
  大岩毘沙門天山門（1 棟）
  木造金剛力士立像（2 躯）
  伝行基像（1 躯）
  銅製八稜鏡（1 面）
  浄林寺離れ（1 棟）
  物見古墳群第 13 号墳（1 基）
- ● 足利市指定天然記念物（3 件）
  大岩毘沙門天のスギ（1 本）
  最勝寺暖地性植物自生地
  大岩山多門道のナツフジ（2 本）

ふるさと「みえ」散策マップ 地図凡例

- ① … コースポイント
- P … 駐車場
- … トイレ
- … 常時見学可
- … 「足利の文化財一斉公開」時に見学可
- … 撮影ポイント
- … 横断注意

※コースタイムはあくまでも目安です。